

株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の日本経済は、米中貿易摩擦を発端とする世界景気の減速懸念の高まりにより、先行きの不透明感が強まりました。当社の主要顧客におきましては、自動車およびエレクトロニクス関連メーカーで積極的な投資が継続いたしました。

このような状況の中、当社は自動車やIoT関連市場をターゲットとした環境試験器のカスタマイズ対応力の強化やエナジーデバイス製品の開発に取り組むとともに、国内および中国・韓国・欧州・ASEANなどの海外市場での売上拡大に注力してまいりました。

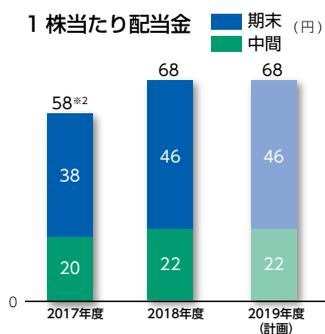
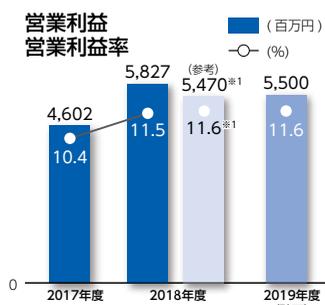
2018年度は、海外連結子会社の決算期（従来12月）を国内連結子会社の決算期（3月）に統一するため、海外連結子会社の決算対象期間が15カ月間となる変則決算となっております。

連結業績といたしましては、受注高は50,698百万円、売上高は50,580百万円、営業利益は5,827百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,289百万円となりました。期末の配当金につきましては、1株当たり46円、年間の配当金は前年度を10円上回る68円とさせていただきます。

なお、海外連結子会社の決算対象期間が12カ月間の参考値といたしましては、売上高は47,060百万円、営業利益は5,470百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,030百万円となっております。

当社は、2018年度～2021年度までの4カ年を対象期間とする中期経営計画「プログレッシブ プラン2021」に取り組んでおります。2019年度におきましては、売上高47,500百万円、営業利益5,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4,100百万円を計画しております。年間の配当につきましては、1株当たり68円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。



※1 海外連結子会社の決算対象期間が12カ月間であった場合の業績
 ※2 記念配当 中間1円、期末1円を含む



代表取締役社長 **いしだ まさあき**
石田 雅昭